

みらいをひらく中学入試研究会

志望校選びの視点

～首都圏 国立大附属中学～

本パートの流れ

1. 国立大附属中学を知ろう
2. 入試制度を知ろう
3. 志望校の選び方と求められる学力

1. 国立大附属中学を 知ろう

国立大学附属学校とは？

大学本体の附属だけでなく学部の研究活動の一環として
学部附属として設置されている学校もあり、

特に高等学校以下の教育機関の教員を

養成する教育学部(およびそれに類する学部等)の附属学校が多い。

教育学部の附属校に限らず教員養成系の過程を持つ大学の附属学校では、

教育実習等を行う教員養成の場として、

また先進的な教育の在り方を模索する実験校としての使命を持つ。

国立大学附属学校とは？

中高一貫教育が行われ、

高校入試にわざわざされることがないケースもあるほか、

集まる児童生徒や教育内容のレベルの高さ、ユニークな取り組みなどから、

特に大都市圏に集中して古くからある各校とも

ブランド校化・進学校化する傾向が強い。

一方で私立大学附属学校とは異なり、

原則として母体の大学への進学特典は存在しない。

(ただし一部、附属学校対象の特別入試を実施している

国立大学もある =例>お茶の水女子)。

東京都内・神奈川・埼玉・千葉の国立大学附属中学校

- お茶の水女子大附属中学校(文京区) 中学のみ共学
- 筑波大学附属中学校(文京区) 共学
- 筑波大学附属駒場中学校(世田谷区) 男子
- 東京学芸大学附属小金井中学校(小金井市) 共学
- 東京学芸大学附属国際中等教育学校(練馬区) 共学
- 東京学芸大学附属世田谷中学校(世田谷区) 共学
- 東京学芸大学附属竹早中学校(文京区) 共学
- 東京大学教育学部附属中等教育学校(中野区) 共学
- 横浜国立大学教育学部 附属横浜中学校(横浜市) 共学
- 横浜国立大学教育学部 附属鎌倉中学校(鎌倉市) 共学
- 埼玉大学教育学部附属中学校 (さいたま市) 共学 ■ 千葉大学教育学部附属中学校 (千葉市) 共学

出願資格に
居住地要件あり。

■ 学校の特徴 ~校風編~

- ・自由な校風。
- ・盛んな学校行事、部活。特に文化祭は盛り上がる。
- ・生徒を「大人」扱いして、管理しすぎない。
- ・意識の高い生徒が集まる。

→主体性がある生徒に向いている。

- ・高くなない学費で意識の高い生徒と学べる。
- 高校授業料無償化で優位性は薄れる。

■ 学校の特徴 ~学習編~

- ・進度は標準的(先取り学習は限定的)。
- ・先生に任せられた授業。
- ・「研究活動」などレポートを書く機会が多い。

→「考える力」「表現力」が鍛えられる。
→主体性がある生徒に向いている。

■ 学校の特徴 ~大学入試編~

- ・進路指導は「本人の意志を尊重」。
- ・カリキュラムは「必ずしも入試を意識していない」。
- ・現役大学進学率は(現状)同レベルの私立より低い。

※筑駒は別格。

→受験に向けた学力養成が目的ではない。
→国立大学推薦入試に成果。
今後の「入試の変化」に合う指導方針。

合う、合わないがあります。

中学校になってからやりたいことが明確な方、
主体性の有る方には向いていますが、
「受け身の姿勢」だと何も身につかない面もあります。
お子様の校風が合うかどうかを重視して考えましょう。

※ 東京都立など公立の中高一貫校も似た傾向です。

2. 入試制度を知ろう

入試制度

- 東京の入試日は**2月3日**が標準実施日。神奈川・千葉・埼玉は別日程。
 - 他の難関私立と併願可能。「練習」してからの受験も可能。
 - 国立大学附属同士の併願不可。公立一貫校も同日なので不可。
- 入試は**一般入試一回のみ**。複数日程ではない。
- 入試科目は**国語・算数・理科・社会 +α(面接・調査書・実技)**
- 合格最低点などは非公表も多い。**全体的に高得点の争い。**

●2025年入試志願者動向

学校名	試験日	性	2025 志願者	2024 志願者	2023 志願者	2025 増減	2024 増減
筑波大学附属 駒場	2/3	男	644	660	627	-16	33
筑波大学附属	2/3	男	248	252	289	-4	-37
		女	250	269	320	-19	-51
お茶の水女子大附	2/3	男	47	72	57	-25	15
		女	210	281	270	-71	11
東京学芸大 世田谷	2/3	男	111	127	110	-16	17
		女	115	130	126	-15	4
東京学芸大附 竹早	2/3	男	166	143	151	23	-8
		女	133	133	147	0	-14
東京学芸大 小金井	2/3	男	104	137	83	-33	-9
		女			63		

倍率は高いものの一時期より落ち着いたか。

→高校授業料無償化による私立人気。受験生の安全志向。

学校別情報：筑波大学附属駒場

- 開成と並ぶ男子校難易度最高峰。**御三家との併願者が多い。**

高校から40名入学。

- 入試科目と配点(時間) 400点満点 + 報告書100点

国語 100点(40分)、算数 100点(40分)、

社会 100点(40分)、理科100点(40分)

- 合格最低点 65%～70%程度

高度な記述力と処理能力が問われるハードな出題。

算数で差がつく。

学校別情報：筑波大学附属

- 男子・女子とも高校に内部進学が基本。高校から80名募集。
- 男女ともレベルが非常に高く、毎年、激戦の入試。
- 入試科目と配点(時間)

150点満点 + 報告書点42点(6年生12月末・9教科※外国語含む)

国語50点(40分)、算数50点(40分)、社会・理科各25点(2教科40分)

=国算重視。合格最低点は7割を越えることが多い。

※ 2021年度入試より実技教科の試験を廃止。

調査書で点数化(音楽・図工・体育・家庭の報告書点×2)。

学校別情報：東京学芸大学附属系【内部進学】 (世田谷、小金井、竹早)

- 高校進学時に内部進学試験有り。一般入試とは別に1月上旬に実施。

基本的に成績上位の生徒は内部進学をめざすが、外部(都立・私立)に進むケースも有る。

内部入試に合格した場合は辞退できない。内部入試の合格率は約80%。

- 内部進学は男子107名、女子107名。

内部進学の枠は3中学卒業生合計の半分よりやや低いぐらい。世田谷からの内部進学が多い。

- 内部進学の合否は内申点も加味して決定される。内申点40点以上であれば、ほぼ合格している。

→内部進学は「選抜」されることを知った上で、志望すること。

3. 志望校の選び方と 求められる学力

2月3日、志望校の選び方

- ・筑波大学附属駒場 → かなりの学力が必要。
- ・筑波大学附属 → ハイレベルな争い。共学人気。入試制度変更で人気に？
- ・お茶の水女子大学附属 → 思考力型問題導入で志願者はやや減。
- ・学芸大学附属系 → 内部試験があることを前提に。
- ・公立一貫校 → 思考型の「適性検査」は、十分な対策が必要。小5冬に決断を。

→Z会の教室は、「一人ひとりに合った学校」をお勧めする進路指導です。

高校受験・大学受験部門で多くの生徒さんが通っているので、

学校の「リアル」の情報をたくさん持っています。ぜひ、ご相談ください！

入試の出題傾向 ※筑駒は別格

- ・難関私立よりも問題は取り組みやすく、基礎事項を聞かれる。
- ・高得点の争い。→ミスをしない、基本問題で確実に点を取る。
- ・苦手教科があると差をつけられる。→4教科のバランス。
- ・資料の読み取りや実験、身近な素材を題材にした
思考力を問う問題が出題される。→今後も増加すると思われる。
- ・記述問題は少ない学校もあるが、「差をつける」ために大事なポイント。

国立大学附属に向けた学習法 ※筑駒は別格

- ・難問に取り組む必要はない。**基礎を確実に。**
 - 反復学習で確実な知識の定着を。
- ・出題方法が独特なものがある。
- ・問われていることを把握＝**問題の「意味」を理解する習慣をつける。**
 - 問題の意味を把握する練習を。安易にヒントを与えない。
- ・4教科をバランス良く。**苦手教科を作らない。**
 - 特に学大系は中学に行ってからのことを考えても大切！

中学受験コース本科授業開講中！



夏期講習も申込受付中！

Z会個別指導教室でも
中学受験の対応が可能です！

- ・週1回～2回の通塾で
 - ・記述力、論述力をつける添削指導
 - ・一人ひとりに寄り添った進路指導
- 開講教科
算数・国語
理科・社会
※4教科セット
/2教科セット受講
小4、小5は「思考力講座」も開講しています！